



平成 17 年 3 月期 個別中間財務諸表の概要

平成16年11月11日

上 場 会 社 名 理研ビタミン株式会社
 コ ー ド 番 号 4 5 2 6
 (URL <http://www.rike-vita.co.jp>)
 代 表 者 代表取締役社長 堺 美 保
 問合せ先責任者 取締役経理部長 山 下 隆

上場取引所 東
 本社所在都道府県
 東京都

T E L (03)5275-5111

中間決算取締役会開催日 平成16年 11月 11日 中間配当制度の有無 有
 中間配当支払開始日 平成16年 12月 10日 単元株制度採用の有無 有(1単元100株)

1. 16年9月中間期の業績(平成16年 4月 1日～平成16年 9月30日)

(1)経営成績 (注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年9月中間期	32,495 △ 0.6	2,277 22.3	2,488 32.4
15年9月中間期	32,682 0.8	1,862 △ 4.2	1,880 △ 1.3
16年 3 月 期	64,384	4,224	4,274

	中間(当期)純利益	1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円 %	円 銭
16年9月中間期	1,581 28.5	66 97
15年9月中間期	1,230 16.1	52 09
16年 3 月 期	2,704	113 51

(注) ①期中平均株式数 16年9月中間期 23,613,433株 15年9月中間期 23,619,945株 16年3月期 23,617,868株
 ②会計処理方法の変更 無
 ③売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円 銭	円 銭
16年9月中間期	15 00	—
15年9月中間期	10 00	—
16年 3 月 期	—	30 00

(注) 16年9月中間期中間配当金の内訳

記念配当 ー円 ー銭
 特別配当 ー円 ー銭

(3)財政状態

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年9月中間期	65,945	44,831	68.0	1,898 62
15年9月中間期	60,195	41,369	68.7	1,751 55
16年 3 月 期	64,415	43,796	68.0	1,853 64

(注) ①期末発行済株式数 16年9月中間期 23,612,475株 15年9月中間期 23,619,017株 16年3月期 23,614,523株
 ②期末自己株式数 16年9月中間期 40,075株 15年9月中間期 33,533株 16年3月期 38,027株

2. 17年3月期の業績予想(平成16年 4月 1日～平成17年 3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たりの年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	期 末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
通 期	64,500	4,700	3,000	15 00	30 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 126円 04銭

※本資料における予想は、現時点において想定できる経済情勢、市場動向や事業環境などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因変化により予想数値と実際の業績が異なる可能性があります。

1. 個別中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(百万円未満切捨て)

期 別 科 目 (資 産 の 部)	当中間会計期間末		前中間会計期間末		比較増減 金額	前事業年度	
	(平成16年9月30日)		(平成15年9月30日)			(平成16年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
I 流 動 資 産 (資 産 の 部)	35,242	53.4	33,316	55.3	1,925	35,045	54.4
現金及び預金	9,243		7,770		1,473	11,239	
受取手形	1,805		2,072		△ 267	1,889	
売掛金	14,581		14,684		△ 102	13,887	
有価証券	2,215		1,735		480	1,310	
たな卸資産	5,773		5,492		280	5,292	
繰延税金資産	775		730		45	756	
その他の流動資産	861		842		18	672	
貸倒引当金	△ 15		△ 12		△ 3	△ 3	
II 固 定 資 産	30,702	46.6	26,878	44.7	3,823	29,369	45.6
有形固定資産	12,575	19.1	11,467	19.0	1,108	11,800	18.3
建物	4,921		4,740		180	4,636	
機械及び装置	3,569		3,414		154	3,352	
土地	2,420		2,420		-	2,420	
その他有形固定資産	1,665		891		773	1,391	
無形固定資産	552	0.8	589	1.1	△ 36	565	0.9
投資その他の資産	17,574	26.7	14,822	24.6	2,752	17,003	26.4
投資有価証券	10,589		8,572		2,016	10,620	
関係会社株式	2,891		2,424		466	2,683	
関係会社出資金	2,318		1,936		381	2,043	
関係会社長期貸付金	1,103		1,208		△ 104	978	
その他の貸倒引当金	687		720		△ 33	692	
	△ 14		△ 39		△ 25	△ 13	
資 産 合 計	65,945	100.0	60,195	100.0	5,749	64,415	100.0
I 流 動 負 債 (負 債 の 部)	17,250	26.1	16,036	26.7	1,214	16,802	26.1
支払手形	1,042		1,015		27	728	
買掛金	5,996		5,685		311	5,908	
短期借入金	2,200		1,750		450	2,200	
未払費用	3,450		3,458		△ 8	3,033	
未払法人税等	986		1,009		△ 22	1,541	
未払消費税等	59		160		△ 100	207	
賞与引当金	666		638		28	681	
その他の流動負債	2,848		2,319		529	2,501	
II 固 定 負 債	3,863	5.9	2,789	4.6	1,074	3,816	5.9
繰延税金負債	2,345		1,676		669	2,388	
退職給付引当金	573		263		310	543	
役員退職慰労引当金	198		171		27	188	
預り保証金	745		678		67	695	
負 債 合 計	21,114	32.0	18,825	31.3	2,288	20,618	32.0
I 資 本 金 (資 本 の 部)	2,537	3.9	2,537	4.2	-	2,537	3.9
II 資 本 剰 余 金	2,466	3.7	2,465	4.1	0	2,465	3.8
資本準備金	2,465		2,465		-	2,465	
その他資本剰余金	0		0		0	0	
III 利 益 剰 余 金	35,854	54.4	33,531	55.7	2,323	34,769	54.0
利益準備金	634		634		-	634	
任意積立金	32,370		30,871		1,499	30,871	
中間(当期)未処分利益	2,849		2,025		824	3,264	
IV その他有価証券評価差額金	4,026	6.1	2,877	4.8	1,148	4,072	6.4
V 自 己 株 式	△ 54	△ 0.1	△ 42	△ 0.1	△ 11	△ 49	△ 0.1
資 本 合 計	44,831	68.0	41,369	68.7	3,461	43,796	68.0
負債及び資本合計	65,945	100.0	60,195	100.0	5,749	64,415	100.0

(2) 中間損益計算書

(百万円未満切捨て)

期 別 科 目		当中間会計期間		前中間会計期間		比 較 増 減 金 額	前事業年度	
		自平成16年4月1日 至平成16年9月30日		自平成15年4月1日 至平成15年9月30日			自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
		金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売 上 高		32,495	% 100.0	32,682	% 100.0	△ 186	64,384	% 100.0
II 売 上 原 価		21,720	66.8	21,975	67.2	△ 255	43,368	67.3
売 上 総 利 益		10,775	33.2	10,706	32.8	68	21,016	32.7
III 販売費 及び 一般管理費		8,498	26.2	8,844	27.1	△ 345	16,792	26.1
営 業 利 益		2,277	7.0	1,862	5.7	414	4,224	6.6
IV 営 業 外 収 益		275	0.9	168	0.6	106	349	0.5
受 取 利 息		13		19		△ 5	32	
受 取 配 当		132		73		59	118	
賃 貸 料		52		55		△ 2	110	
為 替 差 益		41		-		41	-	
そ の 他		34		19		14	87	
V 営 業 外 費 用		64	0.2	151	0.5	△ 87	300	0.5
支 払 利 息		43		42		0	84	
為 替 差 損		-		105		△ 105	172	
そ の 他		20		2		18	42	
経 常 利 益		2,488	7.7	1,880	5.8	608	4,274	6.6
VI 特 別 利 益		-	-	88	0.3	△ 88	99	0.2
投 資 有 価 証 券 売 却 益		-		88		△ 88	99	
VII 特 別 損 失		30	0.1	16	0.1	13	34	0.1
固 定 資 産 除 却 損		27		16		10	27	
投 資 有 価 証 券 評 価 損		0		-		0	3	
そ の 他		3		-		3	3	
税引前中間(当期)純利益		2,458	7.6	1,951	6.0	506	4,339	6.7
法人税、住民税及び事業税		906	2.8	993	3.0	△ 86	2,040	3.1
法 人 税 等 調 整 額		△ 30	△ 0.1	△ 272	△ 0.8	242	△ 406	△ 0.6
中 間 (当 期) 純 利 益		1,581	4.9	1,230	3.8	351	2,704	4.2
前 期 繰 越 利 益		1,268		795		472	795	
中 間 配 当 額		-		-		-	236	
中 間 (当 期) 未 処 分 利 益		2,849		2,025		824	3,264	

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1.資産の評価基準及び評価方法

- ①有価証券
 - 子会社株式及び関連会社株式 …… 移動平均法による原価法
 - その他有価証券
 - 時価のあるもの …… 中間期末日の市場価格等に基づく時価法
〔 評価差額は全部資本直入法により処理し、
売却原価は移動平均法によっております。 〕
 - 時価のないもの …… 移動平均法による原価法
- ②デリバティブ …… 時価法
- ③たな卸資産 …… 総平均法による原価法

2.固定資産の減価償却の方法

- 有形固定資産 …… 定率法
但し、平成10年4月1日以降取得の建物(建物附属設備を除く)については定額法
- 無形固定資産 …… 定額法
但し、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

3.引当金の計上基準

- 貸倒引当金
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上しております。

- 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与にあてるため、当期に支払う賞与のうち当中間期の費用となる金額を、当中間期末直前の支給実績を基準に月割りで見積もり計上しております。

- 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。
過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により費用処理しております。
数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により、それぞれ発生翌事業年度より費用処理しております。

- 役員退職慰労引当金
役員退職慰労金の支払にあてるため、内規に基づく中間期末要支給額全額を計上しております。

4.外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

- 外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5.リース取引の処理方法

- リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6.ヘッジ会計の方法

- ①ヘッジ会計の方法 …… 繰延ヘッジ処理によっております。なお、為替予約については、振当処理の要件を満たしている場合は、振当処理を採用しております。
- ②ヘッジ手段とヘッジ対象
 - ヘッジ手段 …… 為替予約
 - ヘッジ対象 …… 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引
- ③ヘッジ方針 …… ヘッジ対象の範囲内で将来の為替相場の変動によるリスクを回避する目的で利用しております。
- ④ヘッジの有効性評価の方法 …… ヘッジ対象とヘッジ手段について、相場変動額をヘッジ期間全体にわたり比較し、有効性を評価しております。
- ⑤その他 …… リスク管理体制として、ヘッジ取引は担当部門が実行し、経理部が管理及び随時取締役会へ報告しております。

7.その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

- 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

追加情報

(外形標準課税)

実務対応報告第12号「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(企業会計基準委員会(平成16年2月13日))が公表されたことに伴い、当中間会計期間から同実務対応報告に基づき、法人事業税の付加価値割及び資本割35百万円を販売費及び一般管理費として処理しております。

1株当たり配当金の内訳

	16年9月中間期 (中間配当)	15年9月中間期 (中間配当)	16年3月期 (年間配当)
	円 銭	円 銭	円 銭
普通(旧)株式 (内訳)	15 00	10 00	30 00
記念配当	— —	— —	5 00
特別配当	— —	— —	5 00

中間貸借対照表:注記

単位：百万円

	当中間期	前年中間期	前 期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	23,977	22,989	23,622
2. 保証債務残高			
①関係会社の金融機関借入等に対する債務保証			
Rikevita(Malaysia) Sdn.Bhd.	1,456	1,500	1,292
Rikevita(Singapore) Pte Ltd	62	58	45
天津理研維他食品有限公司	116	161	132
Guymon Extracts Inc.	222	-	-
理研食品(株)	-	-	115
新研産業(株)	140	-	-
計	1,997	1,720	1,585
②従業員の財形ロ-ン保証	20	24	22
3. 担保資産			
①担保に供している資産			
投資有価証券	2,350	1,888	2,342
建物	1,071	947	948
構築物	84	84	80
機械及び装置	1,397	1,335	1,418
工具器具備品	30	28	25
土地	57	57	57
計	4,992	4,342	4,873
②担保資産に対応する債務			
短期借入金	1,600	1,150	1,600
その他流動負債(従業員預り金)	1,288	1,333	1,317
計	2,888	2,483	2,917

[中間損益計算書:注記]

単位：百万円

	当中間期	前年中間期	前 期
1. 減価償却実施額			
有形固定資産	686	671	1,434
無形固定資産	42	36	77
2. 研究開発費の総額	1,329	1,288	2,630
3. 販売費及び一般管理費の主なもの			
販売促進費	1,363	1,422	2,538
広告宣伝費	390	694	947
運賃・保管料	1,911	1,982	3,820
給料手当・賞与	1,104	1,120	2,541
賞与引当金繰入	322	301	318
退職給付費用	233	261	520
減価償却費	51	47	99
研究開発費	1,329	1,288	2,630

[リース取引:注記]

EDINETにより開示を行うため記載を省略しております。

[有価証券:注記]

当中間会計期間、前中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

2. 部門別売上高

(百万円未満切捨て)

	当中間会計期間		前中間会計期間		前年比		前事業年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	前年比	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品部門	27,981	86.1	27,747	84.9	234	100.8	54,505	84.7
家庭用食品	9,905	30.5	9,616	29.4	289	103.0	17,668	27.4
業務用食品	5,722	17.6	5,764	17.6	△ 41	99.3	11,486	17.8
加工食品用原料	6,143	18.9	6,008	18.4	134	102.2	12,395	19.3
食品用改良剤	6,210	19.1	6,357	19.5	△ 147	97.7	12,954	20.1
化成品部門	2,481	7.6	2,578	7.9	△ 97	96.2	5,146	8.0
ビタミン・その他部門	2,032	6.3	2,356	7.2	△ 323	86.3	4,733	7.4
合 計	32,495	100.0	32,682	100.0	△ 186	99.4	64,384	100.0
(うち輸出)	(1,315)	(4.0)	(1,576)	(4.8)	(△ 261)	(83.4)	(1,590)	(2.5)

当社の主な取り扱い商品群

部門	区 分	主 要 品 群		用 途
食 品 事 業	家庭用食品	ドレッシング類 (ノンオイルス・ドレッシング 青じそ) 和風だしの素類 (化学調味料無添加素材力本かつおだし) 中華レトルト類 (こくうまシ・ズ、中華百選)	乾燥わかめ (ふえるわかめちゃん) 海草サラダ類 生わかめ類、生食めかぶ わかめス・プ類 わかめご飯類	一般家庭用向け
	業務用食品	和風調味料類 中華調味料類 洋風調味料類 米飯調味料類 ドレッシング類 たれ・ソース類	乾燥わかめ (ふえるわかめ花ざいく) 海草サラダ類 生わかめ類 わかめご飯類	料飲食店用料理素材 〃 調味料・ス・プ 集団事業所給食用 学校給食用
	加工食品用原料	麺用ス・プ類 粉末・液体調味料 ス・プ調味料 たれ・ソース類 エキス類 餡製品 健康食品	乾燥フル・クわかめ わかめ粉末 惣菜用調味わかめ具材 調理海草類 乾燥食品 冷凍野菜類 めかぶフコイダン	加工食品原料・素材 即席及び麺用ス・プ・ソース 惣菜用具材 惣菜用調味料・ス・プ等 栄養補助食品
	食品用改良剤	食品用乳化剤類 機能性油脂類 加工油脂類 天然色素・甘味料類	乳化油脂類	パン、アイスクリーム、マーガリン 豆腐、麺、水練品、飲料 等その他加工食品全般 色素製剤
化 成 品 事 業	工業用改良剤	プラスチック用添加剤類 食品包装用添加剤類		プラスチックの流滴剤・滑剤 PVC工業用滑剤 POラップ用防曇剤 食品包装用ラップ
ビ タ ミ ン ・ 其 他 事 業	ビタミン類	医薬用ビタミンA、E 化粧用ビタミンA、E 食品用ビタミンE		医薬用 (生理活性剤) 化粧用 (生理活性剤) 食品用 (抗酸化剤、健康食品用)
	その他		洗剤	